



日本共産党 まんだち幹夫 通信

みなさんをいつもまんなか

2007年夏号 事務所: 小石川2-23-7 ☎3868-8355 自宅: 3814-3935
メール: mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

初めての「文教委員会」で質問 学校統廃合、子育て支援……

初めての「文教委員会」(6月22日)に出席しました。広い「第一委員会室」には委員の区議と、向い側にはぎっしり区の部課長さんたちが答弁の準備をして構えています。この日は、12件の理事者報告と1件の条例改定案、請願審議が2件ありました。

私は、汐見小学校の一角を使って昨年からはじめた「放課後事業『オアシス』」の育成室との関係や、中学校の「学校選択制」への区民の心配する声に、文京区がどのように対応するかを聞いてみました。



見直し迫られる「学校統廃合計画」

“区立小・中学校将来ビジョン(素案)は凍結するべきである”——区議会文教委員会で与党委員からもこのような意見が出ています。9月には「中学校案内」が配付されることから、保護者から不安が広がる、という理由です。

教育委員会は、①「素案」は見直しを前提に検討する ②誠之小などの「第二校舎」は検討が必要 ③区民・保護者・地域代表などをつくる協議機関を今年10月頃までに設置し検討作業にはいる、など明らかにしています。選挙中に訴えた、区民無視の計画には「白紙撤回」をひきつづき求めていきます。写真は区長に申し入れる区議団



まんだち幹夫事務所 生活・法律相談

毎月事務所にて、専門家の協力を得て行なっています。お気軽にお問い合わせください。
住所: 小石川2-23-7 (こんにゃくえんま裏)
TEL: 3868-8355

「ネットカフェ難民」! 文京区での実態は?

「ネットカフェ難民」…定職がなく暮らせる収入が得られなくなり、住まいも奪われる。しかたなく「ネットカフェ」を一時的に住まいにする…こんな事態が広がっています。過日、区内のインターネットカフェを訪問しました。店の看板には「ナイトバック 23時〜朝6時 1500円」とあります。「飲食物持込可」とも。しばらくするとサラリーマン風の青年が、いかにも慣れた感じで入店。店員さんは、「うちはサラリーマンがほとんど、それも常連さんが多いです。宿泊場所代りにしている人は以前にはいません」とのこと。



◆運動会 朝からいいお天気めぐまれた6月2日、子どもを通う中学校で「大運動会」がありました。今年は「開校60周年記念」で、生徒も先生も気合が入っていました。なんととっても庄巻は、男子の組体操。なかでも難易度の高い4段タワーは、1回目失敗、2回目も失敗。全員注目、固唾をのむ中、最後のトライ:「祝60周年」の垂れ幕もきまり成功! 大きな歓声に包まれました。

◆田植え 「礪川おやじの会」が借りている厚木の田んぼで、今年も田植えをしました。現地に着くなり雷雨が激しくなり、午前中は見合わせて、天気が回復した午後から田んぼに入りました。

「立派に実ってね」思いを込めて、みんな泥だらけになって奮闘。子どもたちがよく働きました。別の班は近くの畑にジャガイモ掘りに。地域の親子が総勢80余人の参加でした。



まんだち幹夫 みなさんから託された願いを胸に 区議会本会議で区長に質問しました

6月14日区議会本会議で、私は日本共産党を代表しての一般質問に立ちました。



6月14日、平成19年度第2回定例区議会にて日本共産党を代表して区長に質問するまんだち幹夫区議

最初にとりあげたのは、青年の雇用問題。私の周りからも、子どもが、仕事がなくどうしようかと悩んでいる。どこに相談に行ったらいいものか?などの声を聞きます。質問では、①区内の青年の実態調査をしているのか ②区役所に雇用相談、就労支援相談の窓口の設置を ③働く者の権利をしめした労働法の手引書の案内やホームページへの掲載を、などもとめました。

しかし 答弁は、「区として実態調査は考えています」と「相談窓口の設置は考えていません」と、温かみのない

「ワーキングプア」は政治の責任です。

若者に家賃補助を!

www.jcp.or.jp/

青年雇用・しごと支援の問題

東京・板橋区では、区に担当窓口が設置!

「就職・再就職活動を進める上で、様々な悩みを抱えていませんか?自己に適した職業選択、就職・再就職活動の進め方など、様々な就労に関する問題にプロのアドバイザーが貴方の就職実現に向けてアドバイスいたします。お気軽にご相談ください」と呼びかけて、毎週、雇用と就労の相談を受け入れています。

子育て支援問題では、区立保育園への入園待ちが今年も50名ちかくになったことから、保育園の拡充・増設をもとめ、またカットされている保育士さんの増員を緊急にとめました。

ほかに、介護保険「改悪」による利用者への「介護はがし」を改善し、区独自に「家事ヘルパー派遣制度」の創設なども要求しました。

本会議質問の全文と、区長答弁は、日本共産党区議団のホームページに掲載されています。ぜひご覧下さい。

まんだち日誌